

2025 年 2 月度のボーイスカウト福岡第 14 団の報告について

1 ボーイ隊

- 日時：2 月 1 日（土）～2 日（日） 1 級章挑戦キャンプ 生月島周辺（長崎県平戸市）
長崎県生月島に於いて挑戦キャンプを行いました。挑戦キャンプの企画、プログラムを指導者から支援を受けて実施、自己評価を行い、次の課題に挑戦し進級を目指します。



- 日時：2 月 2 日（日） 2 級章挑戦キャンプ 西部運動公園～姪浜
ハイキングの企画から計画を指導者に支援を受ける。展開に於いてはプログラムを確認しながらゴールを目指す。ハイキング後は、評価し次に繋がる課題に挑戦することを目指します。



- 日時：2 月 24 日（月・祭日） 福岡地区 BP 祭 堅粕公民館
ボーイスカウト運動の創始者ベーデン・パウエル卿の誕生日を福岡地区スカウト、指導者、保護者の方々に祝う行事に参加しました。午後から、「集まれ伊能忠敬界限」に設けられている座標を探し出し、目標物の写真を撮りポイントを競うゲームに挑戦しました。



2 カブ隊

○ 日時：2月16日（日）

場所：加也コミュニティセンター

内容：調理実習

目的：体験を通して食と安全について学ぶ

今回はスパイス王国に到着したヴァイキングたちは、国をあげての料理対決「カレー風味の料理」に参加するというストーリーです。組集会で事前にきめた料理、役割分担、材料の買い出しを發揮する日です。

1人350円の予算の中で、買い物をする体験、1時間で決めたメニューを組で協力して調理実習をする。カレーの具材を最初から切る本格的派と、レトルトカレーを使ってユニークなアレンジ料理をする組との対決となりました。審査は保護者のリーダーの判定です。味だけでなく盛り付けや片付けも審査の対象です。ヴァイキングたちはその特別な料理の食前・食後の挨拶も工夫をこらし、決めた言葉を言って食べました。審査員はみな甲乙つけがたく、判定はレトルトを利用した料理でしたが、味の評価は本格派に高得点でした。

今回の本格派とレトルト対決は意図したことではありませんでしたが、スカウトの活動においては、レトルトをおいしく食べる工夫ができ、本格的に作る調理法を経験できたことは良かったです。食後は外にでて、しっぽとり鬼ごっこゲームをして、走り回りました。





○ 日時:2月24日(月・祭日) 福岡地区BP祭 堅粕公民館

今年のB-P祭は、福岡地区による開催で、カブ隊としても参加しました。

3 ビーバー隊

○ 日時:2月2日(日) 季節の工作、豆まき 於 さいとびあ

今年の節分はちょうど2/2の隊集会当日ということもあり、節分一色の行事として実施しました。スカウト達は牛乳パックを使って節分の豆を入れる「ます」を作った後、思い思いに作った「ます」に豆を入れて豆まきをしました。「鬼は外」の掛け声とともに自分の心の中にある良くない「鬼」を追い出して、今年1年の無病息災を祈りました。最後は、次回の地区B-P祭で歌う予定のソングの練習をして、B-P祭に向けての気分を盛り上げました。

スカウト達には、折々の年中行事に触れることで、情緒豊かな人になってほしいと指導者として願います。





○ 日時:2月24日(月・祭日) 福岡地区BP祭 堅粕公民館

今年のB-P祭は、地区による開催でした。午前中は上位部門の年功表彰(5年継続、10年継続)や昨夏の九州・沖縄ブロック野営大会(10KC)のムービーを交えた報告等があり、小学1・2年生のビーバースカウト達もしっかり話を聞いたりしていました。

午後からは地区のビーバー・カブ両部門の合同集会で、ベーデン=パウエル卿によって著された『スカウティング・フォア・ボーイズ』等のスカウティングの古典に載っているゲームやボーイスカウトにちなんだゲームを地区のスカウト達とグループを組んで楽しみ、最後は皆でI've Got That B-P Spiritの歌を歌い、B-P祭は盛会のうちにお開きとなりました。

コロナ禍でICT活用が急激に加速し、また生成AIの急速な発展・台頭により、私たちの暮らしから人間性豊かな活動がどんどん失われ、直接的な対人コミュニケーションが疎になりつつあることを実感することが多い昨今ですが、スカウト達同士、また指導者とゲームを楽しむことはAIには真似のできない芸当です。我々指導者も、改めて人間らしさのたくさん詰まったスカウト運動の素晴らしさを実感するとともに、創始者ベーデン=パウエルの思いを受け継ぎながらリアルな体験活動の機会を提供するスカウト教育に邁進する気持ちを新たにしたい今年のB-P祭でした。

以上